

全校朝会（ひなまつりと春みつけ）

2019. 3. 4

6年生に：卒業までの15日間にしておきたいこと

昨日、3月3日は「ひなまつり」でした。先週、校長室の前にもおひなさまとおだいりさまを飾ってあると話しましたが、児童館や保育園には、もっとたくさんのひな人形や、おひなさまやおだいりさまの使う道具が飾られています。他にはどんな人形や道具があるでしょう。おひなさまとおだいりさまの下段には、「三人官女」というおひなさまとおだいりさまのお世話をする人形がいます。その下には、「五人囃子」の人形がいます。この人形たちは、音楽を演奏します。笛や太鼓や歌を担当をしています。それから、牛が曳く車やお化粧をする時などに使う鏡台、着物をしまっておく箆笥、お茶の道具、裁縫道具なども飾られます。

このおひなさま、1300年も前からあったそうなのですが、最初は紙でできていたそうです。そして、病気とか悪いところをもっていってもらおうという意味をこめて、海や川に流していたそうです。でも、人形がだんだん豪華になっていき、流すのはかわいそうだしもったいない、川にいる生き物にもよくないということで、飾って楽しむようになったそうです。「ひなまつり」の習慣は、これからも日本の伝統として伝えられていくといいと思います。人形も飾ってほしいのですが、豪華な人形でなくていいのではないかと思います。幼稚園や保育園の頃、紙や粘土でおひなさまとおだいりさまを作りませんでしたか。私は、心を込めて作ったおひなさまも素敵だなと思います。紙や粘土の他、余っている布で作るのも卵や蚕の繭で作るのもいいと思います。

学校では金曜日にひなまつりメニューの給食が出ました。ああ、春だな・・・と感じる桃ゼリーやひなまつりのちらし寿司、菜の花のおひたしがとてもおいしかったです。家では、もち米が余っていたので、油で揚げてピンクの砂糖をかけてひなあられを作りました。手作りのひなあられもけっこうおいしかったです。

さて、先週は、春を見つけたら教えてくださいという話もしました。私が見付けたのは、児童館の隣の家の梅の木に来ていた緑色のメジロという鳥、パン屋さんで見つけた桜ペストリー、本屋さんで見つけた「野原のひなまつり」という絵本、そして、学童擁護員さんが調べてくれた花壇の所の桜の名前です。

花壇の所の桜は、花びらが10枚以上あって、花が開いてすぐの時には黄緑色なのに、だんだんピンク色に変わっていく珍しい桜です。前から「何桜っていうのでしょうかね。」と話していたのですが、「分かったよ。御衣黄桜（ぎょいこうざくら）だと思う。」と教えてくれました。とても珍しくて東京都内にも何本もないそうです。八重桜の仲間なので、江戸時代に品種改良で作られた桜だそうです。ソメイヨシノより少し遅くに咲くというので、4月には見ることができると思います。色が変わっていく様子を、じっくり観察してみようと思います。

今週の6日は、啓蟄という日です。虫たちが目を覚まし、土の中から出てくる頃だということを表す言葉ですが、虫だけでなく人も、「さあ、暖かくなってきたから頑張るぞ！」と気持ちを切り替える時期なのだそうです。あと、15日になった3学期ですが、来年につながる頑張りを心掛けていきましょう。

東京都の美術展の、習字と図画工作の表彰をしました。